

常設展示 埼玉の人物



あみぐらふさむらうとは
まがふまき
まろすのぐんまろは
まろまにむろ
このちびふらんすげうすに
はくらんまきいあう

文明開化の先駆者

清水 卯三郎

会 期	7月24日(火)～10月21日(日)
開館時間	9:00～16:30 (観覧受付は16:00まで) ※7/24～8/31は17:00まで(観覧受付は16:30まで)
休 館 日	月曜日(ただし8/13、9/17、9/24、10/8は開館) ※館内消毒のため、9/10～9/11は休館
会 場	埼玉県立歴史と民俗の博物館 常設展示室第9室 〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219
主 催	埼玉県立文書館
共 催	埼玉県立歴史と民俗の博物館



彩の国
埼玉県



さいたまっぴ

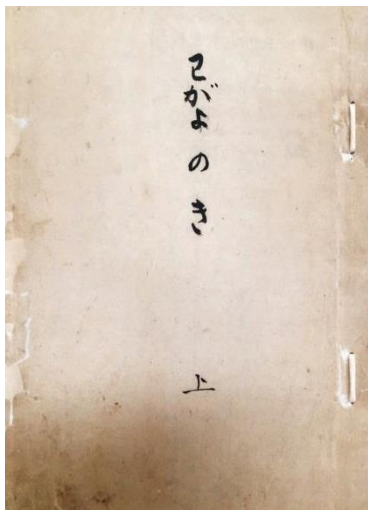
I 幕末維新の国際人 卯三郎

清水卯三郎は、文政12年(1829)、羽生領町場村の、酒屋・薬種商を営む家に生まれました。

卯三郎の母は甲山村(現熊谷市)の豪農根岸友山の妹であり、卯三郎は幼いころより友山の家に預けられ、友山と親交のあった芳川波山などの学者に師事しました。友山の家で目にしたオランダ語に興味を持った卯三郎は地元を出て、各地でオランダ語を勉強しました。

安政6年(1859)、開港で賑わう横浜で商売をすることになった卯三郎は、英語の必要性を痛感し、英語を勉強しはじめます。

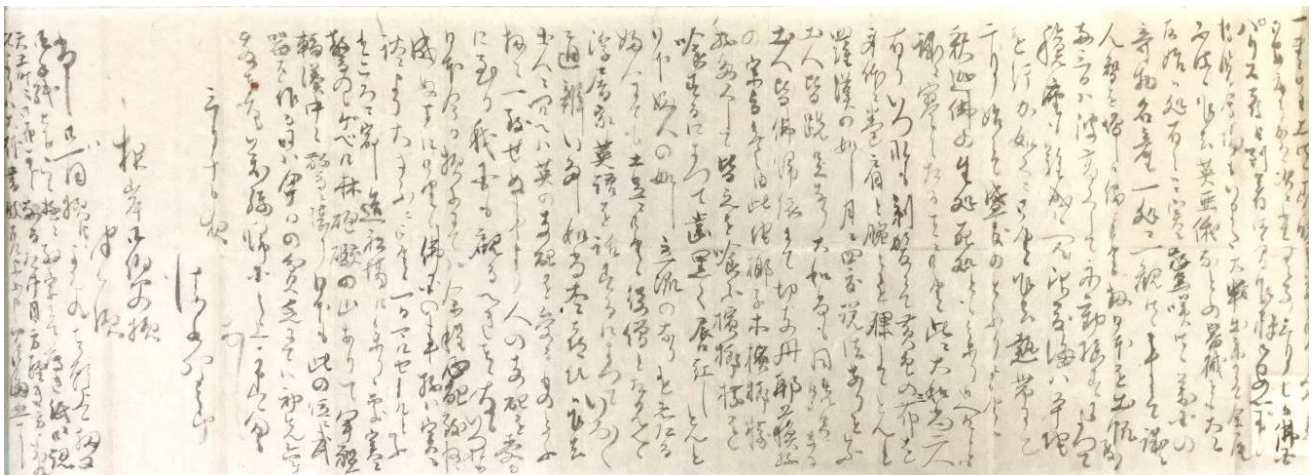
英語ができる卯三郎は、文久3年(1863)の薩英戦争で通訳としてイギリス艦に乗り込み、和平に尽力しました。また、慶応3年(1867)には、日本人唯一の商人としてパリ万国博覧会へ参加し、欧米諸国をまわって先進的な技術や学問を目にしました。



すべてかな文字で書かれた
清水卯三郎の自伝『わがよのき 上』
(清水家文書1)



パリ万国博覧会に出展された茶屋の様子
(渋沢史料館所蔵「写真 茶屋 THE ILLUSTRATED LONDON NEWS」)



パリから伯父根岸友山に宛てた書状
(根岸家文書5139-1)

Ⅱ かな文字論者 卯三郎

明治6年（1873）、卯三郎は、福沢諭吉や森有礼ら当時最高の洋学者たちが結成した啓蒙学術団体「明六社」に加入します。同社が発行した機関紙『明六雑誌』には、政治、社会、文化に関わる論説が掲載されましたが、卯三郎はここに「平仮名の説」を投稿しています。

卯三郎は、複雑な漢字を廃し、わかりやすいかな文字を用いることで、国民全体の知識を向上させようと考えていました。当時、欧米の文化を目の当たりにした日本では、欧米に追いつくために国民教育の充実が叫ばれ、日本語の改良も議論されていました。卯三郎は、かな文字のみを国語にすべしという立場で、積極的に主張を展開していきます。



卯三郎が主宰した『かなしんぶん』

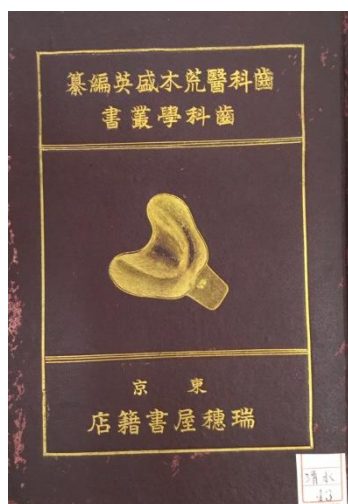
(小林(茂)家文書6737)

Ⅲ 歯科医学発展の立役者 卯三郎

欧米諸国を直接目にした卯三郎は、帰国後、その知見と語学力を生かし、欧米の器械、薬種類の輸入販売と、和訳書や雑誌の出版に着手し、実業家として活躍します。卯三郎が初めて日本に持ち帰り紹介したもののなかには、現代の私たちの生活のなかに残るものもあります。

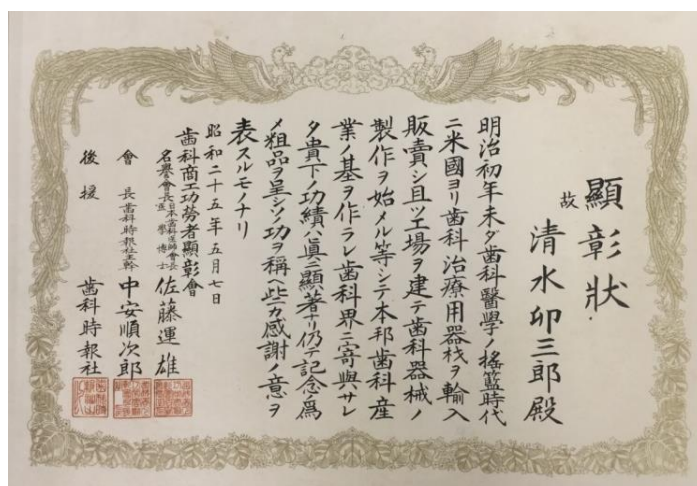
なかでも、卯三郎が欧米から歯科器械と歯科医学書を輸入販売したことは、日本の歯科医学の近代化に貢献したとして高く評価されています。

卯三郎がこうした先見的な活動を行ったのは、幼い頃から化学や医学などを学び、商売を続けながら、非常な努力で外国語を習得し、幕末維新时期に実際の欧米諸国を見る機会を得て、日本との違いを感じていたためといえます。



卯三郎が多数出版した歯科医学書

(清水家文書43)



卯三郎の歯科医学への貢献に対する顕彰状

(清水家文書41)

埼玉の人物 文明開化の先駆者 清水卯三郎 展示資料一覧

I 幕末維新の国際人 卯三郎				
番号	文書名	作成年月日	所蔵	種別
1	写真 清水卯三郎		渋沢史料館所蔵	パネル
2	わがよのき 上	明治32年(1899)	清水家文書1	パネル
3	秩山留守中 用囊	安政5年(1858)	小室家文書421	資料
4	福翁自伝	明治32年(1899)6月15日	国立国会図書館デジタルコレクション	パネル
5	根岸伴七宛清水卯三郎書状	慶応3年(1867)2月22日	根岸家文書5139-2	資料
6	根岸友山・伴七宛清水卯三郎書状	慶応3年(1867)3月10日	根岸家文書5139-1	資料
7	写真 茶屋 THE ILLUSTRATED LONDON NEWS	慶応3年(1867)11月16日	渋沢史料館所蔵	パネル
8	西洋烟火之法	明治14年(1881)11月	国立国会図書館デジタルコレクション	パネル
9	出版々権御願	明治14年(1881)	清水家文書15	資料
9	版權免許之証	明治14年(1881)	清水家文書17	資料
II かな文字論者 卯三郎				
番号	文書名	作成年月日	所蔵	種別
10	ものわりのはしご またのな せいみのてびき	明治7年(1874)	国立国会図書館デジタルコレクション	パネル
11	かなのくわいの文法紹介二付根岸武香書状	明治17年(1884)2月3日	小室家文書48881-1	資料
12	かなしんぶん だい二がう	明治18年(1885)7月15日	小林(茂)家文書6737	資料
13	かなのざつし	明治18年(1885)	小室家文書4440他	資料
III 歯科医学発展の立役者 卯三郎				
番号	文書名	作成年月日	所蔵	種別
14	歯科皮下注射準備器説明書	明治時代	清水家文書3	資料
14	燐酸外歯科法剤使用法	明治時代	清水家文書6	資料
15	歯科学叢書 巻一	明治31年(1898)3月13日	清水家文書43	資料
16	顕彰状(歯科界功績顕著二付)	昭和25年(1950)5月7日	清水家文書41	資料